

下野市公民館運営審議会 議事録 (要旨)

審議会名等 令和元年度第1回公民館運営審議会
 日時 令和元年 5月29日(水) 午後1時30分～3時50分
 場所 国分寺公民館 101会議室
 出席者 委員長 小林 溶子
 副委員長 小貫シゲ子
 委員 青木 浩美、石崎 雅也、佐藤 直子、長岡 政秋
 石崎 勝二、石田 節男、兼丸 起子、館野 紀子
 津野田久江、谷萩 昌道、齋藤 昌枝、石川 常国、
 欠席者 委員 大柿未央子
 市側出席者 教育長 池澤 勤
 生涯学習文化課長 手塚 芳子
 国分寺公民館長 齋藤 光利
 南河内公民館長
 兼 南河内東公民館長 山内 隆匡
 石橋公民館長 福島 正弘
 生涯学習推進グループ 課長補佐 浅香 浩幸
 社会教育主事 漆原 聡
 市側欠席者 南河内東公民館 主幹 櫻井 亜佐美

公開・非公開の別 (公開) ・ 一部公開 ・ 非公開)

傍聴人 0人

報道機関 0人

議事録(概要)作成年月日 令和元年 6月22日

議 案

- (1) 平成30年度下野市公民館利用者状況について
- (2) 令和元年度公民館事業について
- (3) 公民館評価結果について

そ の 他

議事内容

- (1) 平成30年度下野市公民館利用者状況について

	議事に先立ち、池澤教育長から青木新委員へ委嘱状が交付された。
小林委員長	あいさつ
池澤教育長	あいさつ

小林委員長	議題に沿って進める。
事務局	<p>審議事項「平成30年度下野市公民館利用者状況について」事務局からの説明を求める。</p> <p>平成30年度下野市公民館利用者状況に関しては、南河内公民館が6月から12月まで休館していたため、利用件数・利用人数共に減っている。この間、南河内公民館の自主サークルが国分寺公民館や南河内東公民館に移動して施設を利用していたため、国分寺公民館と南河内東公民館は、昨年度より利用件数・利用人数共に増えている。若干減少しているのは、サークル会員数の減少や南河内公民館を利用していた方が薬師寺コミュニティセンター等の施設を利用されたことによるためである。</p>
小林委員長	事務局からの説明について何か質問はないか。 無いようなので次の議事に移りたい。

(2) 令和元年度公民館事業について

小林委員長	次に(2)「令和元年度公民館事業について」審議する。
事務局	<p>事務局からの説明を求める。</p> <p>公民館事業概要については、開設事業ごとの講座や自主グループについて昨年度と本年度との数、公民館まつりの日程等について示している。昨年度と大きく異なる点は、南河内東公民館で、これまで行ってきた「セカンドステージ支援講座」を無くし、本年度、成人講座として広く一般の方に参加してもらいたいという考えのもと実施していることである。今年度は、社会教育指導員の努力によって全ての公民館で講座数が前年度より多くなっている状況である。自主グループ数については、国分寺公民館で増加し、他の公民館では減少傾向にある。但し国分寺公民館で2団体増加した理由は、南河内公民館が休館の際、南河内公民館の自主グループが国分寺公民館を利用した際に利用しやすかったので、登録先を変更したためである。公民館まつりに関しては、資料に示した日程となっている。最終的に各公民館における公民館まつり実行委員会を立ち上げた以降に、最終決定していくこととなる。</p> <p>次に、各公民館における本年4月30日現在の講座の募集・申込・受入数の状況となっている。後期分は7月31日が締切日となっているので、受入数の変動があるため記載がない。家庭教育講座に関しては、各館で募集よりも申込が少ない状況である。青少年教育講座は、ほぼ半々で申込があるものと少ないものとで推移している。セカンドステージ支援講座は、現状で申込が多い状況である。まちづくり入門講座は、全て後期講座ではあるが、現段階では少ない状況である。但し、国分寺公民館の託児ボランティア体験は申込数が無く、兼丸委員のにこにこマンさんとの共催という形で進めさせて頂いたが、何らかの対応を取っていきたいと考えている。成人講座に関しては、前期と後期とで半々位づつあり、ほとんどが多い申込数となっている。定員オーバーの抽選等に関しては、各館で対応している状況である。高齢者講座に関しては、ほぼ募集オーバーの状況にある。これに関しても、受入可能の館、出来ない館があるが、今回は全ての館において受け入れている所である。</p>

<p>小林委員長 各委員</p>	<p>続いて、各公民館の「講座応募状況」について、各館長から概要説明を行う。</p> <p>各委員からの意見が無ければ、議事（3）に移っても良いか。 異議なし。</p>
----------------------	--

(3) 公民館評価結果について

<p>小林委員長 事務局</p>	<p>議事（3）公民館評価結果について、事務局からの説明後、各委員からの意見を頂きたい。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>各委員から提出頂いた公民館評価は、各館とも最終ページに全体評価として各委員からの意見をまとめ、最終評価についてはマニュアルの中で「公民館運営審議会で行う」となっているので、そのまま各委員からの意見を掲載させて頂いた。もう一つ横長の配布資料は、評価結果を各館ごと1枚にまとめ事務局として委員の皆様にご提示させて頂いたものである。各館とも様々な意見を頂いているが、総評に関しては、各館とも全て掲載した。公表に関してこのようなかたちで設定して良いかを、委員の皆様で協議して頂ければと思う。</p>
<p>小林委員長 谷萩委員</p>	<p>この評価の最終決定をしなければならない。昨年度、評価を行うにあたっては、とりあえず実施してみようということではしたが、とりあえず結果が出たら公表するのか、今年度は、単に実施するだけでよいのか試行錯誤しながら行ってきた。皆様の意見を伺いたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>初めての試みであるので、内容や検討事項など見直しもあるかと思う。今回、発表・公表するのはどうかと思う。次回に持ち越してはどうかと思っている。評価の中身を見させてもらったが、課題の書き方が各館ともバラバラである。各館で協議しての書き方というのがあるのではないかと。課題の書き方について、公民館によっては「今後検討が必要である」しか書いていないところがあり、今後どのような検討が必要なのか書かれていない。もう少し具体的に書かれていても良いかと思う。項目によっては実績なしとあり、実績がないなら、なぜその課題がないのかと思う。実績なし課題なしでは、評価の書きようがない。この他、「再確認が必要である」という言葉も出てくるが、いつ、どのようにするかが書かれていない。課題の書き方を考えてほしい。</p>
<p>小林委員長 石田委員 事務局 津野田委員 事務局 津野田委員 事務局</p>	<p>谷萩委員の指摘の通りである。評価シートが完成して館長同士で話し合い、生涯学習文化課とも打合せをすべきだったと思う。各委員からの総評を読んで感じ、自分達が理解していたところのものが、委員の皆様には伝わらなかったことが、逆に私達の収穫になった。</p> <p>この他に意見のある方はいないか。 評価した方が14人というのはどういうことか。 1人の委員からの評価が上がっていないためである。 公民館運営審議会と書いてある各館ごとにまとめてある資料は何か。 これは、評価指標、小項目と中項目をまとめて一覧にしたものである。 これを基に評価するのか。 事務局的な考えでまとめてみたもので、数が多いからBとかCと決まる訳ではない。評価は、全て委員の皆さんに決めてもらって決定するのが基本となる。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>事務局側としては、AとBとが同数であった場合、仮にBにした場合、</p>

事務局	<p>公運審でAで良いのではとの意見があった場合、Aでもいいのではないかという意見か。</p> <p>そういうことになると思う。多数決的になってくるが、評価が分かれた時にどうなってくるかということである。</p>
石田委員	<p>評価をさせて頂いた感想だが、実績を読んで「良いな」、また講座の事業報告を読んで「良いな」と思って評価をAにしようと思ったら、評価の字面を読んだら課題が有ったりする。Aを付けようと思ったらBになったりして評価が下がったりする。国分寺公民館の評価にも書いてあったが字面だけで評価せざるを得ない。課題の中にもある程度の成果が有ったりするが、課題があると評価が低くなってしまおうという感想を持った。</p>
齋藤委員	<p>事務局で先ほど評価をまとめた感想が述べられたが、次回につなげていくことが大事だと思う。先ほど述べた感想以外に何かあるか。</p>
事務局	<p>公民館振興計画の策定に携わってきて、再度この評価を書き入れている段階で、振興計画やマニュアルを何度も繰り返し見てきたが、自分たちがもっと細かに委員各位に分かるかたちで4館打合せをして、同じような内容で、こういう見方でいくという実績・課題を書いていかないと、まとめた評価にならないことが、今回14名の委員の評価をまとめさせて頂き分かった所である。また、どこまで委員の皆さんに評価をして頂ければ良いのかということが分かってきた。全ての評価を1枚の用紙に記入して頂く方法も今後検討したい。谷菽委員からもあった通り、今回は試行であり公表しなくても良いのではないかと話があったが、これは最終的に審議会で決めて頂ければと思う。記入方法についても生涯学習文化課と公民館長が公運審打合せ時に、今年度の評価に関しては今年の12月頃から記入し始め、共通理解のもと委員に配布したい。</p>
小林委員長	<p>公民館側も色々と反省点、課題等があるが、委員の皆さんから意見はないか。</p>
石崎(勝)委員	<p>一般企業では、このような評価をする際、トップの方針が必ずある。トップが公民館をこのようにしたいという思いがあり「公民館のこの項目は、トップとしてこのように考える。それに対し館長はどうするのか」と。それに対し館長が実施したことを評価する。企業では、評価イコール給料となる。下野市として公民館をどのようにしたいかという方針がないと館長はやりにくいと思う。その中で、これだけまとめられたのは、実に立派なことだと思う。</p>
池澤教育長	<p>トップの方針はどうなっているのかという一昨年作成した「公民館振興計画」が下野市教育委員会の考える方針である。それに対し、それぞれの大・中・小の項目が出来上がってきた訳だ。それが出来上がったことで、それぞれの各項目ごとに検証するために、この評価マニュアルを作ったことだ。</p>
石崎(勝)委員	<p>各館長は評価をまとめた時点で、問題点も良く見えているはずだが、色々と表現をどうするかで悩まれたことと思う。</p>
池澤教育長	<p>今、石崎委員が言ったことが全体の評価の輪というか骨組みになっている。下野市では、公民館が様々な分野で活動すべきことを振興計画に盛り込んだ。「学習拠点としての公民館」「活動拠点としての公民館」「協働のまちづくりの拠点としての公民館」「地域文化創生拠点としての公民館」である。果たして、ここに向かってどのような活動が行われたか、この点について試行として検証出来るかどうか、皆様に取り組んで頂いたのが、今回の公民館評価である。従って館長も評価する皆様方も共に初体験であり、大変なことだったと思う。ただ今回、「この段階で公表したら、もう一歩も先には進められないのではないか」との意見があったが、これを基</p>

	<p>にもう1年やってみて、3年後位に実施へと進んでいくのが私どもの考えである。従って費用対効果もあるが、教育活動に関しては、いくらかけたからいくら成果が出たかということは非常に難しい。そこをどう評価していくかということが先ほど谷萩委員が「課題のない評価はあり得ない」と言われたが、実際、その課題に対して具体的に今度はどうするのかということが見えるだけでもこの評価は非常に素晴らしいものがあり、この1回目だけでも感じ取れる。私は、今回この評価を見て良い励みになるのは館長たちではないかと思う。昨年度の終わりの会議にも申し上げたが、これを3年間実施していくと公民館の在り方が見えてくるのではないかと思う。また素晴らしいご指摘も頂いた。公民館活動の振興計画が大基となっていて、これが市教育委員会としては、このように展開をして欲しいとの考えに対して、今年1年どうだったかというものが今回の評価である。その点はしっかり肝に銘じているので、敢えて時間を取って説明させて頂いた。</p>
石崎(勝)委員	<p>私自身、公民館業務が100%分かっている訳ではない。そうすると字面での評価となってしまう、自分としては非常に怖い思いだが、あえて評価した。公民館のことを2～3%位しか分かってない者が全体を評価したということを理解頂きたい。</p>
池澤教育長	<p>今日の会議は、このような意見を皆さんから頂くこともねらいとしており、今後の方向性をどうするかということ事務局としても結び付けていきたいことだと思う。</p>
小林委員長	<p>ただいま何人かの方から、評価の公表は時期尚早ではないかとの意見を頂いた。そこで皆さんの気持ちも落ち着いて、次の意見がたくさん出ればと思う。</p>
兼丸委員	<p>今回評価をするにあたり、何回もこれまでの資料を見比べながら全館を評価してきたが自信がない。各館の公民館まつりも見てきたが、公民館講座とは違った自主サークル活動の良さや地域の特徴も伺え、改めて公民館の奥深さを知った。しばらく時間をかけて行ってはと思う。</p>
長岡委員	<p>私どもの泣き所は、これだけ公民館事業があっても全て見ている訳ではないので、分からない点があることだ。評価項目が多すぎるので、館長も大変だったと思う。項目をもう少し整理してはどうか。公表するのは早いのではないかと思う。</p>
小林委員長	<p>かなり多くの方から、公表しなくても良いのではないかとの意見があったが、他に意見はないか。</p>
石崎(雅)委員	<p>皆さんと同じ意見である。私自身、評価基準があやふやで、それに基づく評価であるので、公表は早いかと思う。逆に私が注目したのは、大項目Ⅱ、中項目1、小項目ウ「自主グループや市民団体の活動を支援します。」の項目である。4館とも全てB評価になっているが、評価項目を見ると、1番良い館ではA6、B8で、次に2館ともA3、B10、C1と続き、低い館ではA1、B8、C5となって全てB評価だが、細かな所まで見ると4館で差がある。自分の館の低い評価を検討し、今後の改善に活かしてもらおうかたちで活用してもらえれば良いと思う。</p>
小林委員長	<p>今回は評価を公表しないで、もう少し時間をかけて検討していくことでよろしいか。</p>
各委員	<p>異議なし。</p>
小林委員長	<p>今回この評価を「公表する・しない」にかかわらず、最終的に公民館運営審議会で決める。時間も余りないが、これでよろしいか。先ほどA評価が7でB評価が7とあったが、本来なら委員が15名いるので、偶数になることはない。1名の委員から評価が出てないので、評価が同数の場合が</p>

池澤教育長 事務局	<p>出てくる。この場合、事務局でB評価をしたが、公民館運営審議会側はどうなのか。事務局側の評価の内容を細かく見て、評価を決めてはどうか。</p> <p>提案だが、今、この場で委員の皆さんに見てもらいより、事務局側で評価が迷った所を、皆さんに判断してもらった方が良くと思う。</p> <p>国分寺公民館の場合、20ページをご覧願いたい。全体評価の【Ⅱ】活動拠点としての公民館の所でA7、B7と評価が同数になり、事務局で評価をBにしたが、審議会ですらどう判断されるかである。</p>
小林委員長 事務局	<p>Bに評価をした理由は何か。</p> <p>自分たちの文章力のなさが良く分かった次第で、評価を上にあげるよりも下にした方が良くと思ったためBにした。</p>
小林委員長 事務局	<p>今の項目について、国分寺公民館の評価シート8ページと各館1枚にまとめた同公民館のシートの大項目【Ⅱ】、中項目1、小項目ア・イ・ウの所を見て頂くと、評価がA・A・Bとなっており中項目の評価がAとなっている。中項目の評価がAとなり、もう一方の評価がBであるため、大項目の評価がBとなった。この部分の評価指標を合計すると数字上、A27、B28、C1となっているが。</p> <p>Cという評価があることから、Aに上がることはどうかという考え方が良く思った。</p>
小林委員長 池澤教育長 小林委員長	<p>事務局からも話しがあった。評価指標の合計がA27、B28、C1ということもあってB評価でよろしいか。</p> <p>この先、誰もが納得できる評価にして欲しい。</p> <p>それでは公民館運営審議会としての評価は、各館1枚に集約したものとし、公表はしないこととする。他に何か意見はないか。</p>
齋藤委員 小林委員長	<p>評価は、国分寺公民館以外の他の館も含めてか。</p> <p>今回、問題となったのは、先ほどの国分寺公民館の評価箇所だった。他に変更した方が良く箇所があるか。</p>
齋藤委員 小林委員長	<p>今回の評価結果に加え、会議での様々な意見と併せての評価という形で残し、次につなげていってはどうか。</p> <p>事務局として、会議での意見を次回の評価等につなげるために残してはとの意見だが。</p>
事務局 小林委員長 池澤教育長	<p>全て議事録はとっているのだから、それを確認しながら事務局として進めていきたいと思っている。</p> <p>次回の会議のために、参考として委員の皆さんに配布してはどうか。</p> <p>次回の評価の第1回目の時に、委員の皆さんに報告として示し、次回につなげていくことが大切であると思う。</p>
小林委員長 事務局 小林委員長 館野委員	<p>ぜひ、お願いしたい。</p> <p>そのようにしていきたい。</p> <p>他に意見はないか。</p> <p>南河内東公民館をよく利用させて頂き、3年近くになる。なぜ館長が兼務になったのか理由がわからない。</p>
事務局 青木委員	<p>昨年度から、南河内公民館長が東公民館長兼務となっている。東公民館職員は主幹ということで若干若いのが、館長相当職であると事務局側では理解し、管理職として対応してほしいと昨年度から担当職員に依頼し、館長会議等にも出席してもらい共通理解を図っている。</p> <p>今日、初めて会議に出席した感想を述べさせて頂きたい。市民が参加したくなるような事業を公民館が展開し、学校と同じく地域の核となりながら地域づくりにつながっていると会議の中で確認した。それぞれの公民館を活用している市民の評価は取っているのか。</p>
	<p>各講座では受講生から、公民館まつりでは参加団体からアンケートを取</p>

事務局	<p>っている。昨年度まで対応していなかったが、評価指標にもあった意見箱を各館ともその後に設置し、来館者から意見を頂けるように努めている。</p> <p>実際に利用している方から意見を聞くことで、評価が客観的に見えてくると思う。活用して欲しい。</p>
青木委員	
長岡委員	<p>私も実際、公民館を利用させて頂いている自主サークルの1人だが、各公民館とも非常に良い雰囲気を使わせて頂いている。改めて何かないかと言われても、利用の都度に館長等を捕まえて意見しているので情報は伝わっている。余談だが南河内公民館の事務所は入りにくい造りだと思う。</p>
事務局	<p>改修以前は小さな窓しかなくて人の出入りも分かりにくく、利用者に対応の際、顔を合わすこともままならなかった。改修して市民課も公民館に入り、カウンターを事務室内に設けたことで、職員と顔を合わせて対応出来るようになったので、良かったと多くの方からの声も聞こえる。</p>
池澤教育長	<p>以前、南河内中学校に行かれた方はご存知と思うが、玄関から入って教室に行くのに職員室の前を通らなければならなかったのが、大規模改修の際、最初にその箇所を直してもらったことがある。南河内公民館を改修する際、事務室の壁を取り払ってカウンターにしようとしたが、非常用の配電盤が壁の中に入っていたので、現在の造りとなった。利用者の利便を考えドアは開けたままで対応している。</p>
石崎委員	<p>南河内公民館が大規模改修工事をしてきれいになったのは良いが、スポットライトを付けて欲しい。公民館まつりでステージの上下で発表しているが、せっかくの発表が平板に見えてしまい、浮き上がらない。</p>
池澤教育長	<p>以前、南河内公民館は玄関のライトすら無く、夜間、階段の昇降も危険だった。改修でライトも付き明るくなった。</p>
石田委員	<p>新石橋公民館建設に向け、小林委員長も尽力されている。公民館運営審議会の意見も取り入れながら作って頂きたい。</p>
小林委員長	<p>これまでの会議では、大まかな所を議論してきたので、詳細については今後となる。</p>
池澤教育長	<p>建設に向け会議も様々進めてきている。皆さんの意見を反映できるかは方法にもよるが、「公営施設マネジメント」が中心になっており、教育委員会として要望は十分述べるが、全面的には生涯学習文化課の意見として反映させて頂くことになる。</p>
小林委員長	<p>石橋公民館のサークルの皆さんから「ホールを作ってほしい」との意見が出ていた。更にホールを作るとなると面積の関係や予算がかなり必要となる。建設にあたって「あれもこれも」との要望は難しい。細かい設計は決まっていないので、防音設備を付けたり必要な備品の要望など、あまり予算がかからずに使いやすい新公民館建設を目指せばと思う。</p>
手塚課長	<p>今年度、総合政策課から生涯学習文化課に石橋駅周辺公共用地利活用基本計画ということで、新石橋公民館建設を含めた複合施設整備の構想が決められたものを引き継いだ。これまで小林委員長も会議に出席させて頂きご存知のことだが、新たにホールを要望するのではなく、これまでの会議で部屋などについての大枠は、決められているので、その部屋について間取りをどうするかといった意見を皆さんから聞く場を設けていきたい考えである。</p>
小林委員長	<p>ただ今、手塚課長からも話があった通り、意見を伺われた際は、公民館運営審議会として議事にかけてたい。本日議題の公民館評価については、公表は後にして、先ほどの会議で出した意見を基に7月の会議で検討し直すことでよろしいか。</p>
事務局	<p>事前送付資料の予定表では、7月の第2回会議で公表したい考えで進んできたが、会議でのご意見等で公表しないことから、次回の会議でご報告</p>

小林委員長	<p>という形で進めさせて頂きたい。併せて、次年度の評価マニュアル案も提出できればと考えている。</p> <p>次回の会議は、ただ今事務局から話しのあった通りに進めていきたい。本日の会議は、以上で終了する。</p>
-------	---

(4) その他について

事務局	<p>第41回全国公民館研究集会 第59回関東甲信越静公民館研究大会栃木大会の開催について</p> <p>8月22・23の両日、宇都宮市で開催され、23日に宇都宮共和大学で下野市が事例発表を行う。市で参加費2,500円×12名分を予算化しているので、ぜひ参加して頂きたい</p> <p>評価マニュアルの見直し・確定について</p> <p>10月の中間報告の会議の際にマニュアルの見直しを行っていきたい。12月にマニュアルの確定(シートの提示も)をしたい。</p> <p>次回の公民館運営審議会の日程について</p> <p>7月26日(金)午後1時30分から国分寺公民館101会議室で行いたい。</p>
-----	--

閉 会